

# 地球を救うエネルギーとその作り方(屋外版)

地球温暖化について学び、どうしたら歯止めをかけられるかを考えます。  
更に、ソーラースクーターや自転車発電などの体験を通して、太陽光エネルギーの利用や省エネの意識につなげます。

対象(学年)：小学生  
人数：クラス単位  
実施場所：教室、屋外  
所要時間：1時間

## 内容

1. 持続可能な開発目標(SDGs)の中のエネルギーと地球温暖化対策に関わる項目(No. 7とNo. 13)について紹介し、温暖化の影響と原因が私たちの生活にも関係していることを紹介します。  
児童たちにも分かりやすくイラストとクイズ形式で説明します。
2. 次に私たちの生活で欠かせない電気エネルギーと温暖化の原因となる二酸化炭素の発生メカニズムと、色々な発電方法を手回し発電の模型などを用いて説明します。  
その中で化石燃料を使って発電する火力発電では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一つである二酸化炭素を発生させるため、再生可能な自然エネルギーなどを有効に使うと共に、省エネや節電が大切なことを学習します。
3. 座学の後は、屋外でソーラースクーターやソーラー噴水で太陽電池を使った発電の長所と短所について体験してもらいます。  
また、自転車発電は実際に自分の力で電気を起こし、白熱球とLEDランプとの消費電力の違いを、負荷(踏む力)の違いとして実感してもらいます。

講師 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議  
連絡先 NPO法人 ひらかた環境ネットワーク会議  
TEL 072-847-2286 FAX 072-807-7873  
E-Mail jimukyoku@hirakata-kankyou.net

